



J A の 経 済 事 業 改 革 は 職 員 の ス キ ル ア ッ プ か ら !

J A の 営 農 指 導 力 の ス キ ル ア ッ プ に は 2 級 ・ 1 級 を !
J A 一 般 職 員 に は 農 業 の 基 礎 知 識 の 取 得 の た め の 3 級 を !



農技検

2022年度農林水産省・文部科学省後援

日本農業技術検定

応募期間 [第1回] 4月28日(木)～6月3日(金) [第2回] 10月3日(月)～11月4日(金)

受験級 [第1回] 3級・2級 [第2回] 3級・2級・1級

試験日

第1回

7/9

土

第2回

12/10

土

日本農業技術検定は、わが国の農業現場への新規就農のほか、農業法人や関連企業等への就業を目指す学生や社会人などを対象として、農業知識や技術の修得水準を客観的に把握し、教育研修の効果を高めることを目的として、2007年度から実施している農業専門の全国統一の試験制度です。

大学で学んだ農業に関する実践的知識の修得水準を客観的に測定しますので就職に向けたキャリアアップに役立ちます。勉学の成果を検定に活かしましょう(国の普及指導員資格試験は、大学卒業後4年の実務経験が受験資格となっているため、現役大学生では受験できなくなっています。一般的に就職時には各種資格取得がある方が有利です)。

実施主体

日本農業技術検定協会
(事務局：一般社団法人全国農業会議所)

TEL：03-6910-1126 FAX：03-3265-5140

e-mail：kentei@nca.or.jp

<https://www.nca.or.jp/support/general/kentei/>



【日本農業技術検定協会構成団体】

(一社)全国農業協同組合中央会／全国町村会／全国農業高等学校長協会／全国農業大学校協議会／全国農学系学部長会議／全国大学附属農場協議会／(公社)日本農業法人協会／(一社)全国農業改良普及支援協会／(公財)農民教育協会／(公社)国際農業者交流協会／(一社)日本農業機械化協会／(一社)全国農協観光協会／(一社)農山漁村文化協会／(一社)全国農業会議所(事務局)の14団体によって構成されています。

日本農業技術検定 概要

第1回

2022年7月9日(土)

3級 10:00~10:40 (40分)

2級 11:10~12:10 (60分)

応募期間

第1回 4月28日(木)~ 6月3日(金)

第2回 10月3日(月)~11月4日(金)

試験会場

一般受験は東京・大阪等各地の指定会場

団体受験は試験実施団体の準備・提供した会場

[2021年度優秀表彰団体] ※「農業高等学校の部」除く

(3級) (JAの部) 最優秀団体: JAみなみ信州、優秀団体: JA三島函南、JA松本ハイランド、JA福岡市。

(2級) (JAの部) 最優秀団体: 沖縄県農業協同組合、優秀団体: JA東京中央、JA富士市。

(農業大学校等の部) 最優秀団体: 専門学校山梨県立農業大学校、アグリイノベーション大学校関西校、優秀団体: 栃木県農業大学校、埼玉県農業大学校、アグリイノベーション大学校関東校、新潟農業・バイオ専門学校、長野県農業大学校、鳥取県立農業大学校、熊本県立農業大学校、大分県立農業大学校。

(大学の部) 最優秀団体: 佐賀大学農学部、優秀団体: 拓殖大学北海道短期大学、茨城大学農学部、玉川大学農学部、鳥取大学農学部。

※JAはこたて、JA前橋市、JA東京中央、JAマインズ、JAかながわ西湘、JA梨北、JAぎふ、JA御殿場、JA南駿、JA伊豆の国、JA富士市、JA遠州夢咲、JA富士宮、JA三島函南、JAあいち豊田、JAひすい、JA石川中央会、JA福井中央会、JA長野中央会、JA上伊那、JA木曾、JA中野市、JAあづみ、JA信州諏訪、JA佐久浅間、JA信州うえだ、JAみなみ信州、JA松本ハイランド、JAながの、JA東びわこ、JAこうか、JA西びわこ、JA大阪泉州、JA大阪南、JAいづみの、JA丹波ひかみ、JA兵庫六甲、JA三原、JA板野郡、JA香川県、JA福岡中央会、JA粕屋、JA福岡市、JA糸島、JA筑前あさくら、JAにじ、JAくるめ、JAふくおか八女、JA柳川、JAたがわ、JA福岡京築、JAくま、JA大分県、JAべつが日出、JAおきなわ、では営農指導力の向上や一般職員のキャリアアップを目的に団体受験を実施しています。

県連グループとして、営農指導員上級資格の要件の一つとしたり、一般職員は全員3級資格を取得する取り組みを進めるところもあります。

※拓殖大学北海道短期大学、酪農学園大学、宮城大学、秋田県立大学、茨城大学、高崎健康福祉大学、玉川大学、東京農業大学(神奈川、北海道)、日本大学、岐阜大学、静岡県立農林環境専門職大学、名城大学、新潟大学、新潟食料農業大学、信州大学、京都先端科学大学、摂南大学、鳥取大学、県立広島大学、佐賀大学、東海大学(熊本)、大分短期大学、南九州大学、宮崎大学、琉球大学、では大学生の団体受験を進めています。多くの大学では学生が元々農業経験もないため大学での農学習得の補強手段として活用されているほか、日本大学生物資源科学部では農場実習の中で本検定受験に取り組んでいます。

※本検定の上位資格は、一定の農業に関する実務的知識を習得していることの証明になります。

第2回

2022年12月10日(土)

3級 10:00~10:40 (40分)

2級 11:10~12:10 (60分)

1級 13:00~14:30 (90分)

受験料(税込)

| | 一般受験 | 団体受験 | 団体受験 (学生割引) |
|----|--------|--------|----------------|
| 3級 | 3,140円 | 2,620円 | 1,570円 |
| 2級 | 4,190円 | 3,350円 | 2,090円 |
| 1級 | 5,240円 | 4,190円 | 2,620円 |

※複数級受験割引=学科の「3級と2級」又は「2級と1級」を同一検定日に受験の場合、受験料を1,000円割引。

試験方法

[3級] 学科試験のみ

[2級] 学科試験+実技試験

[1級] 学科試験+実技試験

※1級、2級も学科試験のみの受験が可能です。学科に合格した場合は、「学科試験合格証明書」を発行します。なお、1級・2級実技試験は免除措置があります。詳しくは本検定ホームページをご覧ください。

| | | |
|------------|-------------------------|--|
| 3級 試験科目 | 農作業の意味がわかる入門レベル | ■ 農業基礎として共通30問 ■ 「栽培系」「畜産系」「食品系」「環境系」から1科目選択で20問。ただし、「環境系」については、環境共通10問と3専門分野(造園、農業土木、林業)別に各10問 ■ 四者択一のマークシート方式による計50問 |
| | 主な受験対象: 農業高校生 | |
| 2級 試験科目 | 農作物の栽培管理等が可能な基本レベル | ■ 農業一般として共通10問 ■ 「作物」「野菜」「花き」「果樹」「畜産」「食品」から1科目選択で40問 ■ 五者択一のマークシート方式による計50問 |
| | 主な受験対象: JA営農指導員・大学生 | |
| 1級 試験科目 | 農業の高度な知識・技術を修得している実践レベル | ■ 農業一般として共通20問 ■ 「作物」「野菜」「花き」「果樹」「畜産」「食品」から1科目選択で40問 ■ 五者択一のマークシート方式による計60問 |
| | 主な受験対象: JA営農指導員・大学生 | |

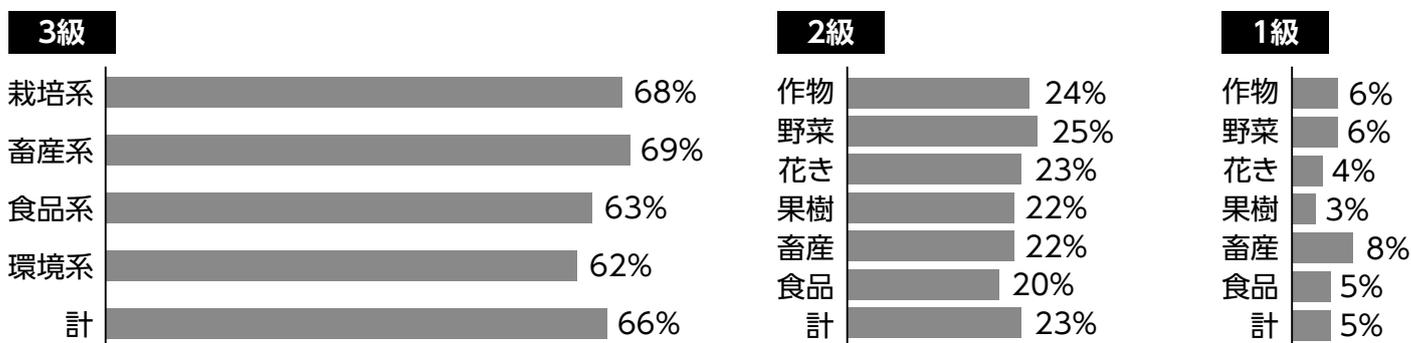
日本農業技術検定の受験実績

①全体受験実績(2016～2021年度)

(受験者数(人)
合格率(%))

| | 3級 | 2級 | 1級 | 合計 |
|--------|--------------|-------------|----------|--------------|
| 2016年度 | 20,183人(62%) | 5,350人(19%) | 308人(8%) | 25,841人(53%) |
| 2017年度 | 20,681人(56%) | 5,743人(18%) | 277人(6%) | 26,701人(47%) |
| 2018年度 | 20,521人(62%) | 5,365人(20%) | 247人(9%) | 26,133人(53%) |
| 2019年度 | 19,992人(59%) | 5,311人(23%) | 266人(7%) | 25,569人(51%) |
| 2020年度 | 18,790人(66%) | 3,015人(21%) | 206人(7%) | 22,011人(59%) |
| 2021年度 | 20,939人(66%) | 5,908人(23%) | 265人(5%) | 27,112人(56%) |

②科目別合格率(2021年度)



③合格基準

[3級] 100点満点の原則60%以上

[2級] 100点満点の原則70%以上

[1級] 120点満点の原則70%以上

実技試験

(2級、1級試験では学科のみの受験も可能です。学科試験合格者には学科試験合格証明書が交付されます。実技試験までご希望の方は以下をご参照ください)

①2級実技試験免除

2級実技試験(農業機械についてのほ場での実地検定)の希望者は11月に受験の機会があります。農業系の学校(農業高校、農業大学校、大学等)での農場実習、農業経験(JAの営農指導経験を含む)1年以上、2級実技試験免除規定に指定する農業用機械・食品加工の2機種(工程)以上を履修していれば免除が可能となります。

学校での2級団体受験の場合は、学校(団体)としての2級実技免除手続きをお薦めします(5年間有効)。具体的な手続きは本検定ホームページをご覧ください。

※2級、1級ともに免除申請がない場合の合格証は「学科試験合格証明書」になります。

※農業機械の実習証明に必要な講習会については本検定ホームページをご参照ください。

②1級実技試験免除

1級実技試験(12月の1級学科試験と同日時に開催)は1級学科試験合格者の希望により受験が可能です。農業系の学校での、農場実習等4単位取得者又は2年以上営農実務経験を有する方は免除が可能となります。詳細は本検定ホームページをご覧ください。

申込方法

お申し込みは
ホームページから

▶ <https://www.nca.or.jp/support/general/kentei/>

①一般受験

個人がインターネットで申し込む場合は、申込方法の「一般受験」画面から申し込む。

「農の雇用」事業研修生は、都道府県農業会議が受験者をまとめてインターネットで申し込む。

※受験料の振込先口座番号は受験者(団体)別になっており、毎回変わります。応募期間内に所定の振込口座へ受験料をお振込みください。

②団体受験

学校・JA・農業法人など要件を満たす実施団体(受験者5名以上、試験会場を提供、試験官1名以上担当など)がインターネットで申し込む場合は、申込方法の「団体受験」画面から申し込む。

テキスト・参考書 (購入方法などの詳細は本検定ホームページをご覧ください)

テキスト・参考書を活用して、①過去問題集を解いて出題傾向をつかむ。②過去問題集の解説やテキスト、高等学校農業用教科書で問題を確認する。③自分の苦手な領域を重点に②の確認を行う。④類似した出題もあるので過去問題集を何度も学習する一などの勉強方法も効果的です。

2022年版
日本農業技術検定
過去問題集
(2級・3級)
好評販売中!

農業知識を
まとめて1冊に!

日本農業技術検定
2級テキスト(全面改訂版)

内容を大幅拡充
頁数も倍増

※5月末刊行予定

3級

- (1) 2022年版過去問題集3級 (発行) 全国農業会議所
*2019年度、2020年度、2021年度試験問題5回分を収録
- (2) 日本農業技術検定3級テキスト (発行) 全国農業高等学校長協会
- (3) 文部科学省検定教科書 高等学校農業用 (発行) 教科書出版会社

2級

- (1) 2022年版過去問題集2級 (発行) 全国農業会議所
*2021年度試験問題2回分を収録
- (2) 日本農業技術検定2級テキスト(全面改訂版)^注 (発行) 全国農業会議所
- (3) 文部科学省検定教科書 高等学校農業用 (発行) 教科書出版会社

1級

- (1) 1級学科試験問題…日本農業技術検定協会(全国農業会議所)
*2019、2020、2021年度試験問題、年度毎に実費販売
- (2) 日本農業技術検定1級…参考図書例 農業関係出版社

※1級試験問題は過去問題の出版物はありません。ホームページをご覧の上、日本農業技術検定協会事務局宛(kentei@nca.or.jp)にメールにてご連絡ください。実費でコピーして送付いたします。

※テキスト・参考書については、それぞれの発行元にお問い合わせください。 全国農業高等学校長協会 TEL.03-5357-1666

注) 2級テキストの全面改訂版は、5月末刊行予定です(全国農業会議所発行)。

JAにおける団体受験の取組み紹介

JAグループにおける日本農業技術検定への取組みは平成22年から始まりました。当初は九州の一部JAの取組みだけでしたが、その後徐々に自主的に本検定に取り組むJAも増え、令和3年度には全国49JA、約1,700人の受験があり、前年度より8JA、約600人も大幅増加となりました。

JA関係者の受験は、これまでJA営農指導員による2級、1級の専門級受験が主でしたが、最近の特徴としては、県中央会が主導してJA営農指導員を対象とした上位級受験に加えて、職員教育の一環として広くJA一般職にも3級受験を推奨する県連が増えてきています。また、JA福岡市では、令和2年度から人事制度の評価に本検定資格を加えて、職員のキャリアアップに受験を奨励して、昨年度より倍増の158人も受験がありました。

JA長野県グループでは「営農相談員資格」という独自制度があり、

これまでの制度を改めて令和元年度から日本農業技術検定3級取得を条件とすることに切り替えられました。これにより元年度は県下11JA、314人の受験者があり、3年度も継続して約300人が受験しました。

このうちJA上伊那では「営農部門以外の職員を含めて全職員がスタンダードレベルの農業知識を持って組合員とコミュニケーションをとらねばならない」との基本方針から、①営農相談員資格取得と、②毎年全正職員を対象とした農家体験実習を2本柱として、職員の意識改革を進めています。

JA香川県でも、令和元年から新規採用職員や若年層職員を中心に農業に関する基礎知識を身に付けるため、県内の農家での農業体験のほか、35歳未満の職員を対象に日本農業技術検定3級受験を3か年計画で進めています。元年度は294人の受験があり、3年度には102人が3級を受験しました。

日本農業技術検定への協賛企業・団体 —— 私達も応援しております!



日本農業技術検定に関するお問い合わせ

日本農業技術検定協会 (事務局：一般社団法人 全国農業会議所)

〒102-0084 東京都千代田区二番町5-6 あいおいニッセイ同和損保 二番町ビル7階

TEL:03-6910-1126 FAX:03-3265-5140 e-mail:kentei@nca.or.jp